

## 成果の説明書

|  |           |
|--|-----------|
| (氏名) 夏莉 佐宜   | (学部) 経済学部 |
| 1 重要事項   |           |
| <p>2020 年度は Covid-19 のパンデミックにより、例年とは異なる研究活動および教育活動となりました。2020 年度は急きょ初の遠隔授業への対応を行うことになり、また所属学会の延期や中止があったことから、教育活動への比重を大きく活動を行うこととなりました。</p>   |           |
| A. 教育活動  |           |
| <p>遠隔授業への実施にあたり、英語担当教員としてカリキュラム運営に参画しました。前期・後期ともに遠隔授業に対応するシラバスとオンライン対応課題を新たに設計、作成しました。その他、遠隔授業に対応するための業務に従事いたしました。</p>   |           |
| B. 研究活動  |           |
| 1) 個人研究  |           |
| <p>前年度までのタスク研究を発展させ、タスクと語彙習得研究に関する先行研究を統合的に調査し、<b>Synthetic research</b> として執筆をスタートいたしました。また、タスクと語彙研究に関連し、語彙習得に関する実践的な予備調査をスタートいたしました。</p>   |           |
| 2) 学会活動  |           |
| <p>2020 年度は所属学会の年次大会などが延期や中止になりましたが、2021 年度からはオンライン開催の大会や研究会などに積極的に参加していく予定です。なお、<b>JACET SLA</b> 研究会の研究会が 2021 年 3 月 14 日にオンラインで開催され、タスクやインタラクティブ研究に関する研究方法に関する書物を輪読に参加しました。</p>  |           |
| 2 その他の事項   |           |
| <p>英語必修科目および選択科目の担当のほか、<b>General English I, II (Pre-Intermediate)</b> と <b>Business English III, IV (Intermediate)</b> のコーディネート業務をいたしました。また、次年度の英語カリキュラム運営を準備するための業務に従事しました。</p>  |           |
| 3 次年度以降の計画・抱負  |           |
| <p>2020 年度の教育活動は例年とは異なる対応をとることとなりました。オンライン双方向授業の実施やオンライン課題の全面実施など、新しいことに一から挑戦することとなりました。英語部会では、必修英語では二学部二学年に向けたすべてのクラスに対して均質的な授業提供を行うために、会議を重ねて新しいオンライン対応授業の枠組みを設計しました。こうした活動が来年度以降のカリキュラム運営にも活用され、社会状況に合わせてより柔軟に対応するための基礎となると思います。また、次年度へのカリキュラム運営準備の過程でいくつか今後改良することのできる点を見つけることができたので、次年度では英語カリキュラムの改良についても活動を深めたいと思います。</p> |           |

2020年度は遠隔授業やカリキュラム運営に膨大な時間を費やすこととなりましたが、個人の研究活動についても継続的に進めてまいりました。2021年度にはいくつかの執筆を終了させ、また、データ収集や分析も次の段階へと勧めていきたいと思えます。